

日本天文學會昭和 29 年春季年會

プ ロ グ ラ ム

日 時 昭和29年4月30日(金), 5月1日(土), 2日(日)

場 所 港區飯倉三丁目 東京大學天文學教室

第 1 日 4 月 30 日 (金) 午前 9 時より

【午前の部】

1. 足立 巖 (大阪工試): Nodal Point のはなれた Telescopic System について…………… 5
2. 小林義生 藤本又治郎 (京大): 試作 Faks Camera の收差測定について…………… 5
3. 山本一清 (田上天文臺): Some Experiments with a Schmidt Camera…………… 10
4. 上田 稷 石塚 睦 湯淺 泓 (生駒山太陽観測所): 再び天空澄度計について…………… 10
5. 下保 茂 (東京天文臺): 天體寫眞用乾板の超増感と相反法則のはずれ…………… 10
6. 高木重次 (緯度観測所): 光電管子午儀の一試案…………… 12
7. 弓 滋 (緯度観測所): 天頂儀据付調整の誤差による latitude error…………… 12
8. 切田正實 (緯度観測所): 子午儀軸の不整測定…………… 10
9. 後藤 進 (緯度観測所): コンパレーターの換子の不整測定法について…………… 12
10. 植前繁美 (緯度観測所): 緯度観測に於ける Inclination of wire と其の影響について…………… 10
11. 飯島重孝 (東京天文臺): 水晶時計の精度について…………… 10

【午後の部】

12. 中野三郎 (東京天文臺): 1953 年の月の子午線観測…………… 7
13. 中野三郎 安田春雄 原 壽男 (東京天文臺): 天頂星の赤經観測 (中間報告)…………… 7
14. 村上忠敬 (廣島大學): 散在性流星出現数の年周變化に就いて…………… 7
15. 神田 茂 (横濱國立大): 本田, Borrelly, Neujmin II 周期彗星の軌道について…………… 10
16. 齋藤馨兒 (日本天文研究會): ビーラ彗星の攝動と流星群…………… 10
17. 竹内端夫 (東京天文臺): パラメーターの變化による特別攝動について…………… 12
18. 高木重次 (緯度観測所): 星の視位置計算に於ける注意 (IV)…………… 12
19. 須川 力 (緯度観測所): 緯度観測星の年週視差に就いて (II)…………… 12
20. 高木重次 切田正實 (緯度観測所): 最近の水澤の經度について…………… 10
21. 服部忠彦 (緯度観測所): 極運動の豫報…………… 12
22. 江本祐治: 恒星の集團の統計力學的取扱について…………… 5
23. 成相秀一 (廣島大): ジョルダンの宇宙論について…………… 10

【夜 の 部】

次の二つのシンポジウムが平行に開かれます。

位置天文學シンポジウム

服部忠彦 (緯度観測所): 緯度観測と天文常數

天體物理學シンポジウム

末光善三郎 (東京天文臺): 高分解能分光について

加中武夫 (東京天文臺及び Cornell 大學): 太陽電波, 特にバーストについて

第 2 日 5 月 1 日 (土) 午前 9 時より

【午前の部】

24. 積田壽久, 水垣和夫 (東京天文臺): 暗線に就いて…………… 5
25. 宮澤正英, 大江恒彦 (東京天文臺): 彩層爆發現象の輻射相對エネルギー量と  
黒點及羊斑との相關に就いて…………… 10
26. 中込慶光 (東京天文臺): 乗鞍のコロナ測光観測について…………… 10
27. 堀井政三, 花岡敬郎, 湯浅 泓 (京大・生駒山太陽観測所):  
Coronal line 5694 の excitation と Corona の流動…………… 10
28. 柿沼正三, 中岡哲郎 (京大) flare からの ejection による radio-outburst について…………… 5
- 高倉達雄 (大阪市大): 太陽電波アウトバーストの一つのモデル…………… 12
- 畑中武夫, 鈴木重雅 (東京天文臺): バーストに主眼を向けた太陽電波観測装置について…………… 10
- 畑中武夫 (東京天文臺及び Cornell 大學): 太陽コロナ内における電波傳播の一解法…………… 10
29. 河崎公昭 (東大): 太陽からの微粒子輻射の機構について…………… 7
33. 北郷俊郎 (東大): 東京天文臺塔望遠鏡の固有輪廓…………… 5
34. 一柳壽一, 稻場文男 (東北大): 吸収線の輪廓による太陽大氣モデルの比較研究…………… 10
35. 稻場文男 (東北大): 成長曲線と勵起温度について…………… 10
36. 宮本正太郎, 荒木九卓, 川口市郎, 難波 收, 多田光行 (京大):  
彩層の輝線成長曲線に就いて (I)…………… 7
37. 宮本正太郎 (京大): 重複線と散亂機構…………… 7

【日本天文學會總會】 5 月 1 日 (土) 午後 0 時 30 分より

【午後の部】

38. 齋藤澄三郎 (京大): 高温度星のモデル大氣について…………… 5
39. 小山 伸 (香川大): ヘリウム星大氣の安定性に就いて…………… 7
40. 上野季夫 (京大): 高温星のバルマー吸収線に就いて…………… 5
41. 中村 強, 田鍋浩義 (東京天文臺): 食連星 Y Sextantis について…………… 5
42. 北村正利, 古畑正秋 (東京天文臺): 食連星 ER Orionis について…………… 7
43. 北村正利, 田鍋浩義 (東京天文臺): 食連星に於ける反射効果の Criterion…………… 10
44. 荒木九卓 (三重大):  $\zeta$  Aurigae の大氣について…………… 12
45. 川畑周作 (京大):  $\zeta$  Aurigae の密度勻配について…………… 10
46. 矢田文太 (京大): 二光子放出の惑星状星雲輻射場に及ぼす影響 [II]…………… 5
47. 海野和三郎 (東大): 惑星状星雲内の He II  $\lambda\alpha$  線について…………… 12
48. 藤田良雄 (東大): C 型星 WZ Cas, U-Cyg, U Hya, RY Dra, V Aql の  
スペクトルの比較研究 (第 2 報)…………… 10

第 3 日 5 月 2 日 (日) 午後 1 時より

公開講演會

宇宙電波について  
東洋古代の天文学

畑中武夫氏  
能田忠亮氏